

「サポーターズミーティング」議事録

日 時:2023 年 7 月 23 日(日)13:00～14:40

場 所:泉区中央市民センター

出席者:中心部サポーター及びサポーター

主催者:サポーターグループ HEAVEN SENDAI

意見交換<□:質問者等、■:主催者、◇:市民後援会>

(注)当日の意見交換において、個人を特定できるなど議事録の公開が不適切と思われる内容については、削除または趣旨が変わらない範囲内で表現を一部修正しています。

主な意見交換の内容

- ・開催の趣旨など
- ・磐田戦後の経緯説明
- ・質疑応答

<開催の趣旨など>

■混乱させていることについてお詫びします。すみませんでした。

今日は、感情論は抜きで、あったことだけを話していきます。

だいぶ時間が空いて、憶測が事実みたいになったりしている部分もある。時間が長く空いたのは、クラブとの話が落ち着いていない状況であり、現段階でもまだまとまりきっていない状態だが、今日の段階で話せることだけでも話をしないとホームゲームを迎えられないということだったので、試合前のこの時間を設定させてもらった。

□始める前に質問がある。今日の主催者 Heaven 仙台はどういう組織なのか。責任者や人数などについて教えて欲しい。市民後援会が協力となっているが今日誰か来ているのか。Heaven との関係はどうか教えて欲しい。

■市民後援会のメンバーは、たった今入室した方がそう。

市民後援会の協力というのは、場所を確保してもらったり、議事録を録ることが主。あと、話が少し分かりにくいときには、もう少し説明した方がいいのではないかと、等のアドバイスをもらっている。

Heaven については、そもそも仙台のサポーターグループがみんなそうだが、基本的に好きで集まって勝手に名乗っているだけ。どこかに登録した訳でもないし、責任者が誰ということもない。みんなが友達と集まって一緒に応援しているのと同じ。仲の良い友達に名前がつけました、というだけ。

何人いるのか、ということだが、Heaven は 2006 年からあるが、いま来ていないけど関わってはいないメンバーはいて、何人という把握は難しい。試合に来ている人数は、一試合平均で 20 人ぐらいといったところ。

<磐田戦後の経緯説明>

■磐田戦のことを話す。

表に出ている話を見ると、試合後バス囲みました、バス止まりました、新幹線に乗り遅れました、後の乗りました、ということかと思う。

表に出していない中身があって、(当事者じゃないと)そこが分からないのでいろんな話が飛び火しているんだと思う。

(自分が分かっていることを順序に言うと)試合終わりました。先にスロープに動いた組がいたが、自分は、東ゲートの外でクラブの運営担当と話をしてた(ので動いていることが分からないでいた)。クラブスタッフとしても、この状況はまずい、何か起きそうだという認識で、「これどう決着させる?」という話をしてた。そのスタッフは、「一旦本部に行って磐田側と話をしてくる」ということで双方移動した。

自分は、スタンド席の様子を見に移動した。ブロックが空になっていて、これは動いたんだな、というので現場にいた警備と話をし、自分もスロープ下に降りた方がいいかな、ということで降りていった。

その時点で、人数は約 200 人くらいいた。一部報道で 50 人とあったが違うと思う。

こういうことが起きた時の対応というのは、(これまでの経験で)だいたいクラブで対応方法が決まっていると認識している。案件が起きたときには、両クラブの社長が実行委員の立場で、話し合いを持つと聞いてきている。

その間、自分はクラブスタッフと、端の方で話をしていたが、本部ではマッチコミッショナーが、話し合いの場をセットし、クラブ同士の話し合いを行ったものと聞いている。

いつもであればクラブは現場に人をつけるのだが、一人ぐらしかおらず警備等に指示を出す人がいなくなってしまうていた。

自分としては、東ゲートで話したクラブスタッフからの連絡待ちの状態になっていた。

仙台側としては、磐田のバスを今の段階では出さない方が良いという認識で磐田側にも伝わっていたと思う。

ところが、磐田のスタッフの中でバスを出した人がいたようだ。

それで、下に降りてきていた仙台サポーターとバスが鉢合わせすることになった。

その時も、クラブスタッフは 1 人ぐらしかいなかった。

要は、本部での話し合いが決まらないうちに磐田のバスが出てしまったということだと思う。

「これ、どうする?」という話を、本部から出てきてくれたクラブスタッフや警備と話していたが、仙台側としては、磐田側に某選手のパフォーマンスについて話し合いをして欲しい、と主張していると聞いていた。磐田側の誰が話し合いに応じてくれるかの、話し合いの結論待ちという認識だった。

そうしているうちに、バスの近くの方から「誰か出てくるぞ」という声が聞こえたので、すぐバス近くに移動した。バスのドアが開けられないような状態だったから、仙台サポに空けるように、と話をした。

そして、横内監督とキャプテンが出てきて、「あれは良くない行為だった」、「あれに関してはまずなかったと思っている」との話をしてもらって、「監督とキャプテンが出てきてくれたんだからいいのでは」という話をして、

みんなが納得ではなかったと思うが、道を開けてもらい、バスを出した。

これが当日のざっくりした内容

その後は、うちのクラブと磐田との間で、話を進めるということで、磐田にはクラブとして「うちのサポーターを納得させてください」ということで言っていくと聞いていた。

クラブとしても対応がまずく、時間も長くかけてしまって申し訳なかったと言っていた。

Jリーグからは、クラブの運営責任として、制裁を負うことになるだろう。サポーターに関しては、200 人という人たちがいて、全部特定するのも難しいので、今回はクラブで一括して責任を負う、という話だった。

だから、自分達は、その後の試合にも入場していた。

ところが、一部クラブの上層部が癪に障ったのか、3 週間後に急に話のどんでん返しを始めた。

こちらとしても、その動きを察知したので弁護士に相談を始めて委任していた。

弁護士を立てたのは、処分を受けないという訳ではなく、公平な調査がないうちに、見てくれだけで対象者を選び、処分までもってくるのはやり過ぎだ、ということ。

クラブとしての不手際は抜きで、すべての責任をサポーターに押し付けて収束させようとしていたので、それはおかしいだろうということになった。

一人ひとり事実確認をとった上で処分を出すのなら構わない。

それを受けて我々がとった行動が栃木戦で配ったビラ。

(ビラの内容で)注意して欲しいのは、応援歌の「使用禁止」ではなく「使用停止」としたこと。

そもそも中心部サポーターはいかないので使用できない。

別に選手を応援しない訳ではない、クラブの権限を握っている人が、公平な調査もせずに処分を押し付けてくるのであれば、そのクラブに対して素直な態勢で応援はできない。

こんなやり方を許していたら、Heaven だけの問題ではなく、この先このやり方が許されてしまう。それは筋が通らない。

今現役の自分たちと古くからいた人たちがスタジアムでの応援をつくってきた。

みんなは、ビラをもらって混乱したかもしれないけれど、その点については申し訳なかったと思う。

ビラの本来的内容は、クラブに「この態勢のままでは応援できないよ」とクラブに申し入れをした、ということ。

サポーターに全ての責任を押し付けているのは、このクラブは絶対によくないと思う。

クラブの人間はみんな仲間だと思っている。昔からそうやっている。ところが一部の権力を握った人がサポーターに本気で矢を向けてくるのであれば、自分たちも唯一の武器である応援歌の使用停止ということをやろしかない。

(7月7日に)クラブに1名呼び出されて通告という話になったときに、先回りをして弁護士に依頼済の状態での呼び出しに応じた。

それで本人同士ではなく、正確な調査をするために、第三者である弁護士同士で事実をはっきりさせて、処分もらうものには関してはもらう、やっていない人はもらわない、それが正当な話だ。

弁護士もついているので、すべては代理人を通してやってください、ということになる。

呼び出しについては、処分保留ということで終わっていた。

ところが、その日の夜にクラブは強行で(処分通知したと)リリースを出した。決着が全然ついていない。

それで、この場では言えることも限られてくる。

■調査がちゃんとされているのなら、お互い納得して処分を受けるというのならいいのだが、そうじゃない状況で、呼び出し当日は、弁護士も入れて調査しようという話をして、いったん預かりという事で帰ってきたのだけれど、その日の夜にリリースがされていて、我々もかなり反発している。

応援歌の使用停止が最善の手段だったかどうかは分からないけれど、こういう流れになっているということだ。

以上が、ここまでの経緯。

弁護士も入れて調査が始まっているので、調査の上で話のできないこともあるので言えないこともある。弁護士の了解を得た範囲で話せるものはしていく。

結果として、全中心、Heaven、ラジカルズから始まり、L字を回って旗族まで全て、クラブへ反発の意思を示すためにスタジアム内では応援歌の使用停止を決めているということ。

<質疑応答>

□クラブ側が200人ぐらいいたということで、今回処分対象は22人ぐらいいたと思うけれど、その具体的な切り分けはどうなっているのか？

■分からない。誰が対象なのかも分からない。何も聞いていないので。

リリースでは氏名が分かっているのは9名、そうでないのが13人。

自分が見ている、磐田のバスを殴っているとかはなかったと思う。おそらくだが、顔が分かっているところから引っ張っているのではないかな。

□試合からリリースまでの状況を見ていて、かなり違和感を覚えていて、栃木戦の時に説明者から電話をつないでいただいて、今日の説明の簡略版みたいな話をしてもらった。

栃木戦のビラというのは、ここまでの複雑な話を全部サポーターに伝えきれないので応急処置として出したと考えていいのかな？

■いや、申し訳ないけれど、どうせ使用停止と言ったって歌うんだろうと思った。どうせ歌うのは分かった上で、クラブにはこういう申し入れを行っているという事実を残すことが大事だった。

当日、ビラを後輩にスタジアムまで持っていってもらったのだけれども、その後輩が「応援しようとしている人がいます」って言うので、(背景を説明するために)電話を代わってもらって話をさせてもらった。

□電話で聞いた話を、栃木戦の現場でサポーター何人かで共有したが、納得できない部分もあるという話はあった。

ただ、30年近い歴史を作ってきたサポーターの皆さんが連名で出した重みを受け止めて、一旦

応援歌を使わないという判断をした。

今後、応援歌を使うことについて一般サポーターは制限がないと考えて良いか。

■そこには、応援歌の権利問題というのが出てくると思う。

結論としては全部ではないが抑えてある。なぜかというと、我々は応援歌の CD を何度か作っている。その時に二次使用の許可や、二次使用の歌詞について、権利が発生する。

実際に応援歌を作った各々が権利者として書類に署名している。

応援歌を使う・使わないについては、スタジアムで歌われる応援にもクラブには管理責任がある、ということになっている。

勝手に電波に乗って流れたり、応援歌のフレーズをクラブが公式で使ったり、歌詞や横断幕のフレーズをグッズ化したりと、サポーターを商売の一部にしていることもあり、応援歌がクラブの一定の付加価値になっている事実がある。

応援歌の使用停止ということになると、クラブは管理責任を負うので、いまだこうということはないが、このまま行くとそういうことになりすよ、ということで、「応援歌の使用停止について一部クラブ上層部に対する姿勢です」と書いた。

(市民後援会注: 現状、応援歌を使って応援することの可否について、この時点では回答が明確になっていませんが、この後の質疑の中で「やりたい人たちがやればいい」「応援歌の使用停止はクラブ向けのもの」という回答があり、サポーターを制約することはない、とのことでした。→主催者に確認済み)

□旧中心メンバーの Twitter でいろいろ書いてあったのをみていて、いま話を聞いてそういうことなんだな、と理解できた。

ところで、市民後援会からサポカン開催のメッセージが出たが、あれはどういう意図ででたのかな、と思っている。こういう揉めていることを知った上でのものか。

■自分も後援会メッセージについては、出た後で連絡をもらったのだが、市民後援会は揉めていることは知っていたと思うが、ここまで詳しくは知らなかったと思う。

スタジアムの中もめちゃくちゃなので、サポカンを開こうということだったと思う。

◇200 人ぐらいが関わった上で処分が 22 人、ということもあり、サポーターとクラブがいろいろ噛み合っていないということもあった。処分をするのなら、しっかり処分を完了させて、サポカンでみんなが納得できる状態で前に進んでいきましょう、という趣旨だった。

■後援会が間に入ろうとして出してくれたのはありがたい話なんだけれども、処分完了といっても誰が処分対象なのかも分からない、事実確認もとれていない。厳密にやったら 200 人の話になるし、明確な線引きもないまま、ちゃんとやれるの、ということになる。

□クラブとの着地点というのはそう簡単には出ないな、という感じはした。

これからの応援がどうなるのか、というのが知りたい。

自然発生的な形か？

■決着がつくまでクラブとはやりあう覚悟しかない。

その覚悟がなかったら、中途半端に入場しないなんて言わない。

現状、中心部の有志 100 人は入場していないと思う。

弁護士同士の話も始まったばかりだし、時間はかかるのではないかとと思う。

応援は、やりたい人がやったら良いのではないか。

自分たちもそうだったし。

自分たちが入らない試合の応援について、何も言うつもりはない。

やりたい人がいれば、それはどうぞ、という話。

□中心部はスタジアムには入らないということか？

■いまのところは入らない。

チームは散々な状況だけど、サポーターとしても目標はぶれないで欲しいな、とは個人的に思っている。

□弁護士を入れた、受任したということは、具体的な目的、落とすところは何か？

法的に解決するということか、弁護士同士で話し合いをするのが目的か？

■白黒はっきりつけようということ。

処分理由も、リリースでは「侮辱行為」と「威嚇行為」ということだが、その理由もよく分からない。

現時点では、まだ情報開示を求めている段階。

□クラブの法的責任をはっきりさせるといことなのか？

■法的責任というのではなく、まずは再調査をしましょうよ、ということ。我々の何の行為が問題だったのか、それをまず説明して欲しいのだがクラブが説明をする気がないので、弁護士を介して聞こうということ。

□間に第三者を立ててということだったが、サポーター側の弁護士を指しているということか。

■そういうこと。

□22人以外の200人についてはどう思っているのか？

■180人が浮いているとして、そっちが正解なのではないか、と思ってしまう。

22人にこすりつけて、180人は処分されないとしたら、それはそれでいいのではないか。

■今回のクラブのやり方を認めてしまうと、Jリーグの前例主義を考えると、他のクラブの前例になってしまうのではないかと思っている。

この先、ベガルタの応援を辞める訳ではないので、今までちゃんと各担当者と一緒になって応援を作らせてもらってきた。

バス囲みにしても、本音として「強化部長に説明して欲しいんだ」といったことをお願いしてうまく対応してもらってきた。

それが、特定の上層部の人のせいで、クラブの前例として悪しき例が残っていくことが嫌なだけ。

■簡単に言うと、自分たちを潰したくてやっているんだろうと思う。

みんなもスポンサーとのつながりがあったりして表に出ていないことを知っていることもあると思う。

まあ、早いうちに潰したいのだろうね。パワープレーで。やるのならやればいけど、その責任はクラブがとってもらおう。そこはフェアにやりましょう、ということ。ただ、自分たちが動くと周りに迷惑かけるのは自覚している。そこは、重ね重ねみんなに迷惑かけてごめんなさいというしかない。

自分たちはベガルタの応援を辞める気はない。一回応援したものを辞められない。

□Heavenのみなさんが応援主導に戻る条件はなんなのか？

■クラブが弁護士を通じた話し合いでどういう方向でくるか見えていないので、こっちは着地点が見えていない。お互い話を詰めていく過程で、こういう風なところで話を決めましょう、とか、再調査したところこんな事実が出てきましたね、という風になるかもしれないし、全く未知数。

ただ、今のやり方についてはノーです。

□みんな何も分からないでいるので、市民後援会が議事録をとっているとのことであれば、できれば今日の議事録をネットで出してもらおう訳にはいかないだろうか。

■これだけ裏話を出していると、内容はある程度加工しないとイケないし、個人が特定できる話もしているんで、書けるラインまでになる。

□実は、ベガルタにこの件について意見のメールを出しているが、今日聞いて半分はちょっと違っていたな、と思った。

今日いいたいこともあって準備してきたが、ちょっと的外れだったなあ、と思っている。

それは何の知識もなかったから。

◇以前のサポミに出席した人は分かっていると思うが、こちらとしてはすごく考えて、書けないことは省きながらもその場の雰囲気や伝わるようにしてきた。

今回、いまあったとおり、皆さんベースの知識がだいぶ差があるし、今聞いていて分かったのは双方が弁護士を立ててやっている状況の中で、どこまで出しているのかは難しいところ。

どういう形でだせるか少し考えさせて欲しい。

提案の趣旨はよくわかる。

■クラブだけに全ての責任を押し付ける気はない。

スロープを下りたのも、ごめんね立ち入り禁止エリアだったのね、という話だし、クラブもサポーターも両方だめでしょう、という話をしたいだけ。

□そもそもバス囲みを扇動したのは誰なのか？

■扇動というのではなく、だいたい Heaven の何人かが行くいかない、というような話を始めて動いたらそれにつられてみんな動いたということだと思ふ。

□今日スタジアムに来ている人たちに、謝る気はないのか。

■スタジアムに入らないので、できない。(別な方法を考えている)

一旦話がずれるけれど、我々はベガルタを応援しない訳ではない。ただ、この現状下ではクラブとのやり取りがあるので入らない。

でも、応援はする。今日自分たちはバス待ちをする。

バス囲みからバス待ちというイメージ悪いかもしれないけど、チーム状況を考えて、金沢終わってから速攻で警察に書類だして道路使用許可をもらってきた。

そこに集まった人に、詳しくは言えないが、迷惑かけてごめんねと自分たちは中に入らないけどよろしくね、という話はしたいと思ふ。

□告知されているのか。

■今初めて話した。

□周知しているのか。

■15時過ぎあたりをお願いしたい。

時間帯は、先行入場して出てくればちょうど時間帯ぐらい。

場所は、図書館前の道路の両側。

□今後の応援は状況が変わらないと動かないということか。

■何かあれば情報は出す。

もし、スタジアムの中で今日やるよ、という人たちがいても経験値がないと厳しいと思ふ。

そういう人たちからコンタクトがあれば、乗れるだけの相談には乗るつもり。

□我々のチームの強みは応援だと思ふが、今後いつまでに解決したいというのはどう考えているか。

■最悪、長くかかると思っている。今シーズンいっぱいしかかかると可能性を考えている。

弁護士を入れたことでスピード感は鈍ると思ふ。

もしかすると、クラブが自分たちがいない応援風景が良いと思っているかもしれない。

俗に言われる中心部というところを排除したいというのが、クラブのその人のやり方であるとすれば、社員たちはそうでないとしても、その人たちが上に立っている以上、会社の判断となる訳だと思ふ。

そうなると、このカオスな光景がクラブが望んだ光景なんだよね、ということになる。

ただ、会社が全員そうだとは思ってはいない。この状況でもまだ頑張ってくれている社員もいる。

■磐田の件だけじゃなくて、その前からやりとりをしていて、伏線があった。

こういう感じで処分出てきて、中心部を一気になくそうやみたいなきに受け取れた。

■彼からは面と向かって、Heaven は邪魔なんだと言われた。

■サポーターが減っているのも自分たちのせいだとも言われた。

そういいながら、ベガルタの宣材に自分たちの応援を使ったりして、盛り上がっていますよ、みなさん来てくださって言っている訳じゃないか、それってどうなのと思わざるを得ない。

■自分たちを全面肯定してくれとは思わないし、一定数の全面否定する人たちがいることも知って

いる。でもそれも、出そろっていない情報の中で妄想で筋書き立てて言っているんでしょう、となる。

□答えづらいかもしれないが、SNSで佐々木(前)社長とHeavenは仲が良いと書いているのを良くみかけたが(笑)、佐々木社長のときからHeavenはいらないと言われていたのか？

社長が代わったからそんな風になってきたのかな、と思っていた。

■「いらない」という話は、佐々木さんの頃に言われた。でも、佐々木さんに言われた訳じゃない。良くも悪くも佐々木さんはサポーターあがりだというのはみんな知っていると思う。

みんな好き放題に自分たちと佐々木さんはズブっているとか言ってくれるが、そんなことはなくて、自分はその人に入場自粛もさせられていて、しこたま叱られていた。自分なりの見え方を話す(中略)佐々木さんの場合は、自分たちの話をちゃんと公平に聞いてくれて、事実確認をしっかりとやって、これはお前たちが悪い、とか、これはどうしようもないからお前たち自粛しろ、という言い方だった。

たぶん、土台が(他の人と)全く違うんだと思う。

今言った事例もそうだが、この30年の中で積み上げてきたお互いの信頼関係の中でやってきている部分が多いことは間違いない。その歴史を全部覆してまでサポーターに挑んでくるのであれば、徹底して仙台の応援を守る必要があると思っている。過去のグループまで遡って連名で出したのはそういう意図がある。

□今日の応援のことを気にして集まっていると思う。応援のことで協力できることがあればするということだった。仙台の応援はバックスタンドからゴール裏まで巻き込んでやるのが特徴だ。それには同期を取る機材を準備してやっていると思う。それをやりたい人がいれば協力してもらえるとってよいのか。

■もう一つ前置きがある。自分たちが賛同できる時は全力でバックアップする。それはちょっと違うなという時はバックアップできないことをわかって欲しい。

同期については技術的なことであり、自分たちの中でも一人二人しかできない。現実的には難しいかなと思う。

□スタジアムの中での応援をどうして欲しいとかあるのか。

■一生懸命頑張るって欲しい。チームを勝たせられるようにして欲しい。それ以上でもそれ以下でもない。バス待ちもチームに勝って欲しいからやる。応援をボイコットしている連中がそういうことをやるのはあり得ないが、この状況をなんとか勝って欲しいからやる。下が見えている状況から一桁に食い込んでいって、プレーオフ圏に入って行って、そこから自動昇格が見える位置につける、まだ後半始まって間もないので巻き返せる。

□今の流れからいうと、応援停止と言っているのだから、チャントを使う是非とか、誰が応援をリードするのか、という不安から来ていると思う。

■使っている／だめの話であれば、すでに権利関係の話はしたが、本来の意図はそこじゃない。クラブに対して、自分たちから応援歌停止の仮処分を出せる状態になっている。

□技術的な問題として、あれだけの人が集まるスタジアムの中で、応援歌歌えませんというのは無理な話だから、そこをどういう認識で乗り越えていくのか。

■それをサポーターに言っているのではなく、クラブに言っている。サポーターが歌ったら、クラブの管理責任はどうするのか。

□うちらがこれやったら、クラブが止めにくる、ということか。

■現段階ではそこまで話をこじらせたくない。栃木戦からその形はできあがっている。その状況を理解した上でやるのであれば、サポーターに関しては止めることはしない。

本当に拗れてクラブに仮処分を出したら、厳密にはクラブが応援歌を歌ったら止めに入ることを理解してもらえれば。

クラブはそれでも構わないという話なので。それもクラブの選択なので。

□今日の応援はどうなるのか。SNS上でバックスタンドで応援します、という人がいた。バックスタンド有志という名前で。

■やりたい人がいたらやったらいいと思う。応援というのはやりたい人がやって、そこに対して乗っ

かりたい人がいれば乗っかる、仕切るというよりは乗っかる／乗っからないだけの話かなと思う。それがずっと仙台がやってきたことでもある。誰が上とかではなく、みんな横並びで、出したものに対していい／悪いというだけだ。

□ 中心部とクラブという話になっている。今までの内部事情を知らない人たちから行動を起こして、クラブに対してできることはないのか。

■ 加担してくれとお願いするつもりはない。自分たちからどうこうしてくれということはない。今日の話聞いて理解してもらえたなら、ありがとうございます、と言いたい。

バス待ちの話は省略。

■ クラブにどうこう言うよりは、選手バスを大きな声で迎えたいから、人を呼んで欲しい。入りのところから今日は違うぞということ選手バスに見せるところから始めたい。

■ 試合前の忙しい時に集まっていたきありがとうございました。
冒頭話があった通り、中心部とクラブの問題でご迷惑かかっているところがあり、申し訳ないと思っている。許容してスタジアムで応援できるという感じではないので、そこは理解いただければなと思っている。
ありがとうございました。

(終了)